

2023年度第2回函館競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 長万部特別

長万部（おしゃまんべ）は、北海道南西部の町。名は、アイヌ語の「オシャマンペ（カレイ・ヒラメがたくさんとれる川口）」に由来するという説がある。沿岸漁業や酪農が盛んで、「かにめし」が特産品として有名。

○ 洞爺湖特別

洞爺湖（とうやこ）は、北海道南西部にあるカルデラ湖。名は、アイヌ語の「トヤ（湖畔）」に由来する。支笏洞爺国立公園に属し、周囲には有珠山、昭和新山などがある。2008年には、主要国首脳会議（北海道洞爺湖サミット）が開催された。

○ TVh杯

TVhは、札幌市に本社を置くテレビ北海道の略称。1989年開局で、TXN（テレビ東京）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第2日>

○ 渡島特別

渡島（おしま）は、北海道南西部にある半島、また同半島南部の総合振興局。かつては松前藩の所在地でもあった。道内では温暖な地域で、その気候を活かしてビニールハウスなどの施設を利用した野菜栽培が盛んである。

○ 立待岬特別

立待岬（たちまちみさき）は、函館山南麓にある岬。かつては異国船を監視する要衝であった。岬に至る山道には石川啄木一族の墓があり、その先には宮崎郁雨、与謝野鉄幹・晶子夫妻の歌碑がある。好天時には、津軽海峡を一望する絶景を見ることが出来る。

○ 巴賞

巴（ともえ）は、水が渦巻くような模様。渡島半島南端にある函館湾は、その形が巴状になっているところから「巴湾」とも呼ばれる。

<第3日>

○ 北斗特別

北斗（ほくと）は、北海道南西部、渡島半島南部の市。2006年に上磯郡上磯町と亀田郡大野町が合併して誕生した。法亀寺しだれ桜や松前藩戸切地陣屋跡桜並木など、桜の名所が多く存在する。

○ 潮騒特別

潮騒（しおさい）は、潮が満ちるときに寄せ来る波が立てる音。「しおざい」ともいう。函館競馬場は、JRAの競馬場の中で唯一、スタンドから海を望むことができる。

○ デルマーサラブレッドクラブ賞マリーンステークス

本競走は、デルマー競馬場との間で実施される交換競走。

デルマー競馬場は、アメリカ合衆国カリフォルニア州デルマーに位置する、アメリカを代表するリゾート競馬場。函館競馬場と同様、スタンドから海を望むことができる。

マリーン（Marine）は、「海の」「海産の」「航海用」を意味する英語。

<第4日>

○ 噴火湾特別

噴火湾（ふんかわん）は、内浦湾の別称。渡島半島に三方を囲まれた円形の大きな湾で、名は周囲に活火山が多いことに由来する。イルカ、ホエールウォッチングが楽しめることで有名。また、ホタテ貝の養殖や、サケ、スケトウダラ漁が盛ん。

○ 横津岳特別

横津岳（よこつだけ）は、北海道南西部、亀田郡七飯町にある標高1,167mの火山。恵山道立自然公園に属する。ハイマツやコケモモ、シラタマノキなどの約400種の樹木や草花が分布している。

○ 五稜郭ステークス

五稜郭（ごりょうかく）は、函館市にある日本で最初の西洋式平城跡の通称。名は、外形が星のような五稜形をしていることに由来する。箱館の開港とロシアの南下政策などに対応するため、箱館奉行所として蘭学者・武田斐三郎が設計し、江戸時代末期に完成した。戊辰戦争最後の戦いである箱館戦争の舞台となった。現在は五稜郭公園として整備されており、桜の名所としても有名。国の特別史跡に指定されている。

<第5日>

○ 湯浜特別

湯浜（ゆのはま）は、函館市南西部の地名。名は、湯の川温泉の海岸部であることに由来する。南は津軽海峡に面し、国道 278 号が東西に走る住宅地域。1936 年に現在の湯浜町となった。

○ かもめ島特別

かもめ島は、北海道南西部、江差町にある海拔 20m、周囲約 2.6km の小島。名は、かもめが羽を広げたように見えることに由来する。檜山道立自然公園の特別区域に指定されており、海水浴・釣り・キャンプなどを目的とした観光客が多く訪れる。

○ 函館 2 歳ステークス（GⅢ）

本競走は、函館競馬の 2 歳チャンピオン決定戦として 1969 年に創設された重賞競走。1997 年に札幌と函館の開催日割が入れ替わったことにより、世代最初の重賞競走として早期デビュー馬が目標にするレースとなっている。

<第6日>

○ 臥牛山特別

臥牛山（がぎゅうざん）は、函館山の別称で、函館市の南端に位置する標高 334m の山。名は牛が寝そべっているように見えることに由来する。亀田半島との間に陸繋島を形成し、南端に大鼻岬、東端に立待岬がある。山から望む夜景はナポリ、香港とともに世界三大夜景のひとつに数えられている。

○ 駒場特別

駒場（こまば）は、函館市南西部の地名。函館競馬場の所在地。1875 年に催された函館招魂社（現・函館護国神社）の祭典競馬が、函館における競馬の始まりとされる。その後、1896 年に柏野（現・駒場町）に競馬場が建設され、幾度かの改修を経て現在の函館競馬場となった。

○ サマー2000シリーズ農林水産省賞典函館記念（GⅢ）

全5戦で実施されるサマー2000シリーズの第2戦。

本競走は、1965年に2,400mのハンデキャップ競走として創設された重賞競走。1968年に2,000mとなり、1994年から別定重量戦、1997年より再びハンデキャップ戦で実施されている。

函館（はこだて）は、北海道南西部、渡島半島の南東端にある市。名は、アイヌ語の「ウス・ケシ（湾の端）」から宇須岸と呼ばれていた地に、蝦夷地へ逃れてきた津軽の豪族が館を建て、これが遠方から見ると箱の形に見えたことに由来する。漁業が盛んで、西洋建築群をはじめとする豊かな景観を呈し、観光地としても人気がある。

○ 湯の川温泉特別

湯の川温泉（ゆのかわおんせん）は、函館市南西部にある温泉。登別温泉、定山溪温泉とともに北海道三大温泉のひとつに数えられる。箱館戦争では、旧幕府軍を率いた榎本武揚が傷病兵を湯治させた。